

R.I 第2620地区静岡第2グループ

沼津ロータリークラブ

WEEKLY BULLETIN



世界に希望を生み出そう

2023~2024年度RIテーマ

R.I.会長

ゴードン R. マッキナリー

RI第2620地区ガバナー

中村 皇積

2023~2024

NO.24

事務所 沼津市八幡町15
〒410-0881 ピレッジ35 303号
☎(055) 963-0515 ☎963-5202
例会場 沼津市上土町100番地1
〒410-0802 沼津リバーサイドホテル
☎(055) 952-2411 ☎952-2455
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30
会長 大村 愛美
幹事 渡邊 真秀
会報委員長 渡邊 真秀

再生紙を使用しております。

第3430回例会

2024.2.16

会長挨拶

会長 大村 愛美

事業をしていると監督官庁から調査を受けることがあります。調査と聞くと嫌な気持ちになる方が多いようですが、今回は労働基準監督署の調査について話します。私の経験上、調査には2種類あり、一つは労働者が労働基準監督署に何らかの相談に行った内容をもとに労基法違反がある前提の調査です。これは残業代未払いや解雇予告手当未払いなど、労基法を下回る部分の支払いを求めるケースがほとんどです。

もう一つは労働条件の点検を目的にした調査で特定の業種、規模など何らかの基準で抽出された事業場に自主点検表を作成させた上で資料提出を求めるもので、たとえ違反が見つかっても軽微なものなら改善内容を書面で報告すれば済むものがほとんどです。

私の顧問先で先月、後者の労働条件点検の調査が2件あり私も調査に同行しました。1件は何の指導もなく無事終わりましたが、1件は「管理監督者」の労働時間管理に改善が必要という指摘を受け、1ヵ月間の改善記録を「是正報告書」で提出することを求められました。この事業主さんは管理監督者は固定給、割増賃金の支払はしなくていいので時間管理の必要がないと思っていました。これがなぜ問題とされるかについてですが、まず労働基準法では労働時間、休日、深夜時間等について規定しているので事業主は労働時間を適正に把握し、管理する責務を有しているのにしていないこと、また時間管理をしていないことで健康へ悪影響を及ぼす長時間労働になっていないか把握できる状況がないというのがその理由です。

管理監督者は時間外割増の支払の必要がない(深夜の時間帯の割増は必要だが)からといって労働時間の管理をしなくて良いと考えている事業主さんは割と多いと感じているので注意が必要だと思います。

ゲスト 小崎 晋様 (沼津市教育委員会 文化振興課)

他RC出席 横溝君(2.13 沼津北)

出席報告

欠席者(5名)

森藤君、大石(顕)君、関君、山口君、
横溝君

会員総数	41名
出席計算に用いた会員数	41名
出席計算に用いた出席数	36名
出席率	87.8%
前々回の修正出席率	92.68%

プログラム

3月1日(金)

会員卓話

楠木 公一君
白壁 浩之君

配偶者誕生日 實石 史美様 (学君)

3月8日(金)

東京・沼津人材交流会

勝又 幹英様
崇彦様

発掘調査から見えてくる沼津の歴史

沼津市教育委員会事務局文化振興課 小崎 晋様

遺跡の発掘調査には、遺跡の存否や範囲を確認するための試掘・確認調査、大学などの研究機関による学術目的の調査、公共団体が行う史跡整備に伴う調査、公共団体や民間による開発に伴って実施する発掘調査など、いくつかの種類が存在する。これらのうち、いわゆる発掘調査としてよく認識され、歴史的な発見があつた際にマスコミなどにも取り上げられるものの大半が開発に伴うものである。これは遺跡の破壊を前提として発掘調査を実施し、記録を残すことで遺跡を保存する「記録保存」という手法で、発掘調査の大半を占める。

これまで沼津市では数多くの開発に伴う発掘調査を実施しており、その結果、沼津の歴史としてそれまで認識されていなかった新しい事実が明らかになっている。

そのような遺跡のうち、歴史的に注目すべきものとして、井出丸山遺跡、高尾山古墳、日吉廃寺跡、清水柳北1号墳があげられる。井出丸山遺跡は井出地内に所在する日本列島における最古級の遺跡で、出土した神津島産の黒曜石が旧石器時代に航海の存在を示していることで注目されている。高尾山古墳は東熊堂に所在する古墳時代初頭の前方後方墳で、東日本において最古級かつ最大規模の古墳である。日吉廃寺跡は富士見町地内に所在し、7世紀末に建立されたとされるスルガ最古とされる寺院跡である。清水柳北1号墳は、足高字尾上地内に所在する7世紀末～8世紀初頭の上円下方墳という特殊な形状をした墳墓であり、時期的に日本最後の古墳とも称されている。

また近年、弥生時代中期の遺跡の発見が相次いでおり、得られた新知見から、これまでの沼津市域においては本格的な開始時期が不明瞭であった弥生時代について、その状況がわかりつつある。

このように遺跡の発掘調査は、沼津に限らず地域の歴史に新しい情報をもたらしてくれるものであり重要である。しかし、それは常にこれまでの認識を補強するものであるとは限らない。これまで知られていなかった新しい情報や、他の遺跡での事例などと併せて歴史的な整合性を示す発見が得られることがあるが、これまでの歴史認識に修正が必要となるような事が発掘調査によって分かることもある。

このことは、遺跡の調査によって得られた情報をどのように活用し、理解を深めていくかが問題であり、これまでの発掘調査成果から得られている情報と新たな発掘調査成果から得られる情報を、より客観的に結びつけ、冷静な分析を行うことが必要になる。それが新たな歴史事象の把握につながり、地域の歴史のより深い解明につながるといえる。



発掘調査の調査結果から得られる情報

1 新たな情報

・時間（時代）の空白を埋める情報

高尾山古墳、西通北遺跡
中原遺跡

・成果は凄いが詳細がよくわからない情報

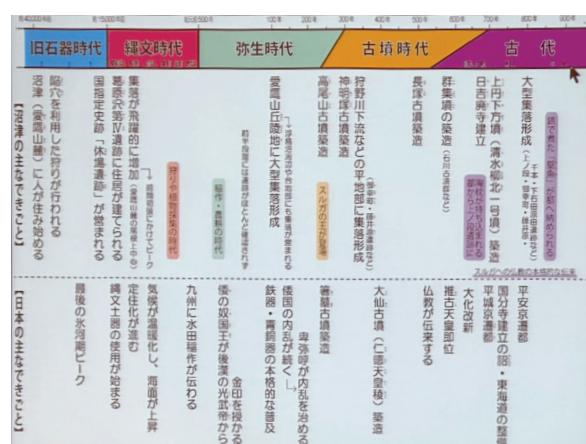
清水柳北1号墳
井出丸山遺跡

2 歴史的な整合性がわかる発見

・他の遺跡での調査結果と結びつけることが 中原遺跡、西通遺跡
可能な情報（自然災害も含む）

3 認識を変える必要が生じる発見

・これまでの認識を変更する必要がある情報 日吉廃寺跡



幹事報告

1. 富士宮RC事務所・事務局員変更のお知らせ

⇒新住所:富士宮市西町22-21 富士宮清掃(有) 内

スマイル・ボックス

2月合計 15,220円

大村会長…沼津市教育委員会文化振興課 小崎様、
本日はよろしくお願ひいたします。

峯村君…誕生日のお祝いをして頂きありがとうございます。

三好君…先週、妻の誕生祝いをありがとうございました。
渡邊秀君…結婚記念のお祝いありがとうございます。18年経ち、19年目の新婚です。

上田君…誕生日と結婚記念日のお祝いありがとうございます。

渡邊真君…昨夜はEテーブル会を楽しませてもらいました。「ニコニコ」。今後ともおじゃまでなければ、会長・幹事、どこのテーブル会にも参加させてもらいますのでお誘い下さい。

高原君…まず、日経平均爆上がり、おめでとうございます。私、5月2日～6日にロサンゼルスに5280地区の地区大会に参加し、ドジャースタジアムに行く予定です。

